



町長回誌

No.243

町長日誌の第 243 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

1月17日 (水曜日) PM4:30

皆様、明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

どの様なお正月でしたか？と聞きたいところですが、元旦に能登半島で起きた地震・津波、「震度 7」ってどんな揺れ方なのでしょう？震度 3 程度は私も経験したことがあります。想像もできない地震であったらうと言うしかありません。奇しくも 29 年前の今日は阪神淡路大震災が起きた日です。当時、神戸は 1000 年地震の起きない地域と言われたとか？今回の能登地震では輪島市を中心に 4000 年分の地面の隆起が一瞬のうちに起きたのですが、皮肉にもこのことが津波の被害を防いだとも言われています。お悔やみもお見舞いも言うのは簡単ですが私には言葉が見つかりません。被災者の皆さんの想像もできない恐怖や今現在も続く苦しみ、悲しみを想う時、一日も早く僅かでも希望が見出せることを願うばかりです。

12月22日 (金曜日)

こんな年末にと思われるかもしれませんが、昨日女満別空港から上京しました。今朝は朝 8 時 30 分に北海道東京事務所に集合です。今日は令和 6 年度予算が閣議決定されることから道庁建設部長と「道路整備促進協会 (私が会長)」「治水砂防海岸事業促進同盟 (厚真町長)」「防災協会 (むかわ町長)」の三団体で予算確保のお礼として道内選出国會議員を回りました。私は道路整備の会長として初めてのことでしたが毎年この様な活動を地道に繰り返し道内の基盤整備を一日でも早く実現できるよう行動しているのです。

1月4日 (木曜日)

役場は暦のお陰で 9 日が仕事始めですが国保病院は今日から外来業務が始まります。毎年 8 時 15 分から仕事始めの行事が行われ、私からは一年間の目標などのお話をしました。堀院長・松本医師そして昨年 10 月から加わった山口医師の 3 人体制で初めての新年です。今年も名寄市立総合病院や広域紋別病院などとの連携を密にしながら早期発見・早期治療さらには回復期や療養がしっかりできる病院を目指して参りますが、町民皆様には検診 (ドック) の利用をお勧めします。

1月15日 (月曜日)

役場では令和 6 年度の予算案を現在策定中です。昨年未までに副町長による査定が終わり大方の予算案が積み上がっています。今日から町長査定が始まり予算案を確定します。今日は福祉保健課・介護支援課の予算案を査定しました。この作業は 1 月 22 日まで続き 3 月議会に提案する「令和 6 年度興部町一般会計予算案と特別会計予算案」が確定するのです。いつも申し上げていますが町民から選ばれた町長はこの予算案を作る権限を有しています。一方、町民から選ばれた議會議員はこの予算案を審査して決定し町長に予算を使っても良いとの判断を示す権限を持っているのです。どちらの権限も皆さんから負託された大切な責任ですから今年もしっかりその責任を果たしてまいります。

1 月もあっという間に半分が過ぎ、流氷の便りも聞こえてきました。「おだやか」と言う言葉を噛み締めて毎日を過ごしたいと思っています。学校も始まりスキー場もオープンしました。冬本番です。寒さも楽しみに変えて春を待ちましょう。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など (使い古しのもので構いません) に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131 です。